

# 法親寺新聞



2013年  
春彼岸号  
手書き新聞 No.6



こんにちは。釋 紗音です。  
春のお彼岸がやってきましたね。皆様お念仏を喜び  
毎日をお過ごしでしょうか？  
さて、お彼岸については「秋の彼岸号」に書きましたので、  
今回は花まつりについて書きますよ。  
4月8日は「花まつり」と言い、お釈迦さまのお生まれ  
になった日です。  
お釈迦さまがお生まれになったとき、甘露の雨が降り  
それを産湯に使ったという伝説から、お釈迦さまの  
像を安置し、ひしゃくで甘茶をかけてお祝いします。  
ある夜、お母様のマヤ夫人がご自分の右脇から白い象が  
体に入る夢を見て、お釈迦さまをご懐妊されたという  
伝説も残されていますよ。

## 本原寺報恩講



1月9日から1月16日まで行われる宗祖親鸞聖人  
を偲ぶ御正忌報恩講に参らせて頂きました。  
開法会館では人權のネル展やバザー  
も行なわれ、多くの門信徒が参拝しました。



ご門主調声の元、  
法要が行なわれ  
ました。  
本堂はお参りに来た  
人達でいっぱい!!  
内陣から遠い人の為  
に、スクリーンが設置  
されています。

## Coffee Restaurant まるいち



大人気!! まるいち定食

玉里市長尾にある市原さん(総代・  
仏婦会長)のお店をご紹介します。  
店内はレトロでとても居心地が良  
いですよ。定食に美味しい  
茶碗蒸しが付く全  
と、お得意なメニュー  
の豊富さから、遠方からも  
お客様が来られます。  
そんなお客様を市原  
さんはとても大切  
にしています。

## 小豆島



マルキン  
さんに行っ  
てしょうゆ  
を  
買強...



田んぼと民家の中に  
あるカヌー左衛門  
オリーブオイルを堪能。



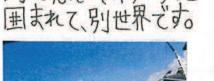
オリーブ公園を散歩。  
みごとに全部オリーブ。  
葉っぱの色が綺麗です。



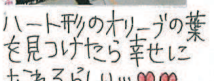
小豆島オリブ公園。  
海も見て、オリブに  
囲まれて、別世界です。



ハート形のオリブの葉  
を見つけたら幸せに  
なれるらしい!!



ハート形のオリブの葉  
を見つけたら幸せに  
なれるらしい!!



ハート形のオリブの葉  
を見つけたら幸せに  
なれるらしい!!

1月14日

御正忌報恩講法座  
・講師・  
法親寺住職  
平松幹夫先生



1月16日は親鸞聖人の  
ご命日です。親鸞聖人が  
阿弥陀如来のお念仏の  
教えにあわれた喜びを  
偲(しの)びにされた正信偈を皆でお勤めし、  
住職の法話を聴聞していただきました。  
また、法話の後には、マナー講師の平松幹夫先生  
に、「高齢期を幸福期にする、ちょっと素敵なお話」  
を講演していただきました。



## NEWS Q&Aのコーナー

ニュースをお伝えします。  
篠原久代さんが岡山南祖  
連続研修会(2年間・  
全12回)を終了された。  
多くの方と出会って  
楽しかったとおっしゃ  
ていました。  
お浄土のお母様も連研  
を終了されていますので  
お喜びになっておられ  
ると思います!!



このコーナーは、ご門徒さんからの  
質問に住職が答えます。

Q... お経は誰の為に  
あげるのですか?

A... 「お経は 故人の為にあげる」と思われている  
方が多いですが、「お経に遇うことは 私の  
喜びである」とお釈迦さまは経典に説いて  
おられます。  
亡き人をしのぶとともに、亡き人から頂いた  
煩悩(わづらひ)の私達を一人残らずお浄土  
へ導いて下さる阿弥陀さまとのお縁を  
喜び、感謝のお念仏を申しあげよう。



住職の法話「仏法はこうをこめて聴聞をせよ」  
この新聞の下段にご法座の案内をいつも記載しておりますが、  
でも多くの方がお参り参られ聴聞されることを住職として願  
っております。  
さて本願寺中興の祖といわれる蓮如上人は仏法は世間の除(よ)  
をわけて聞けとおっしゃいます。なまという字は「除」と書きます。  
これは時間と時間のわきを隙間(すきま)という意味です。それ  
を「わけて」とは引き破るという意味です。つまり少しの隙間  
でもあたらそこを破り掻き分けようという気持ちで  
み教えを聞けという意味です。  
暇ができたと言っていたらいつまでたっても聴聞はできません。  
また聴聞の「聴」とは耳で聴くことではなく、聞(きこ)くことです。  
本山など参つた法話の前に司会者などが「静かに聴聞  
下さい」といいますが、静かに聴くのではなく、心に静かに聴  
く状態をさすのです。蓮如上人御代説聞書に「ただ  
仏法は心をこめて聴聞するにかなる」とあります。寺が静かに  
参り時間(とき)をわけて隙(すき)をこめて聴聞いたします。

## 釋 紗音の友達のおきさんに話していただきましょう!!



あなたの人生は、どんな人生ですかと聞かれたら、それは  
どんな人と出遇って来たかということ。  
色々な人達に会える事が人生の素晴らしいこと。  
しかし、出遇った者が必ず別れて行かなければならない  
事も、定まっております。四苦八苦の愛別離苦とはこのことです。  
そこで仏様が「もう一度、今度は別れることのない仏の国で  
お会いなさい(俱会一処)とお示し下さいます。  
この一処が彼岸浄土で、私達の目的地です。  
「阿弥陀経」さんでは、その為には「聞説阿弥陀仏」阿弥陀の本願  
を聞信し、執持名号若一日若二日...一日でもいい二日でもいい  
からお念仏申しなさい。と教えて下さっています。  
彼岸には、お念仏の道を歩ませて頂く喜びを新たにしたいものです。

人生は出遇いの集積  
よい親にあり  
よい友にあり  
あなたにあり  
今仏様にお遇い出来た  
本堂に  
生まれ来てよかったネ

## お知らせ



春季永代経法座  
●日時●平成25年4月27日(土)午後1時より  
●場所●法親寺本堂  
●講師●黒田真隆師  
(兵庫県宍粟市 安楽寺住職)  
本原寺派布教使  
釋 里達